



平和のために！！

2014 平和のための埼玉の戦争展

岸町：今井 裕子

「なぜ戦争するの？なかよくしようよ人間だもの」をテーマに、8月2日(土)から4日(月)までの3日間、浦和駅前のコルソで「2014 平和のための埼玉の戦争展」が開催され、7800人が参観しました。「北東アジアの平和な未来を」のコーナーでは、「六者協議」に参加する国の面積や人口、GDP、軍事費などを模型を使って比較。また、教育やメディアについて、かつての戦前の様子と今日のできごとをオーバーラップさせ、何が似ていて何が違うのかが、わかるように展示されていました。イベントルームでは、中国での戦争体験談や青年たちのピーストークなど多彩な企画が盛りだくさんでした。

広く明るい会場は、解説を聞きながら熱心にメモをとる高校生や、紙芝居やビデオを観る親子連れなどで賑わいました。特に今年は、中高年の方が多く見受けられ、集団的自衛権や憲法



2014 平和のための埼玉の戦争展

、原発のコーナーを熱心に見ていました。

憲法の解釈を変えるだけで、集団的自衛権行使を容認し、「戦争する国づくり」に向かって暴走する安倍政権に、不安や懸念をもつ人が増えています。今、世界では軍事に頼らず、平和的な話し合いで紛争を解決する方向にすすんでいます。「戦争展」を参観することによって、こうした世界の流れに展望と確信を持つことができました。

埼玉平和美術展に出品して

領家：高橋 俊彦

今年で、48回展を迎え、141名の出品者に、300点程の出品がありました。今年は福島県在住の方(7人)にも出品してもらい、特別展「フクシマ」を設けました。無事終了しました。

今から47年前、埼玉会館隣の図書館で第1回埼玉平和美術展が開かれました。当時、国内外でアメリカのベトナム戦争反対運動があり、美術を通して「平和を訴えていこう」と開かれました。

6～7人の実行委員会が作られ、矢野昭雄さん(当時小学校の図工教師)が第1回の実行委員長になっています。私は第11回展頃から、出品を始めたように思います。この会で活躍していた矢野昭雄さん(民間の美術教育団体の新しい絵の会の中心メンバー、私も若い頃、全国大会に参加)や根岸君夫さん(埼玉大美術家の3年先輩)、鯨井洪さん(埼玉前衛青年作家集団で



書「平和の申し子たち」自作の前の野々垣会長

ご一緒)方を存じ上げていたことも会が身近に感じられたのだと思います。

この会は、他の会にない特徴があります。誰でも、自由に出品できるということです。他の団体展では、審査があり、それを

通らなければ出品できません。平和展は、3点まで6000円、小品1点は4000円で小さくても大きくても、絵画、彫刻、写真、書、工芸等々、無審査で出品出来ます。又、会の運営は、実行委員会方式で、ベテランも新しい方も、プロもアマも、平等をモットーに民主的に運営している点も魅力があります。描き始めたばかりの人も、出品出来ますし、自分の作品について語ったり、批評してもらったり出来ます(合評会)。

この会の発足当時は、会員は、20代～30代の若者でした。今は、60代～80代と高齢化が進み、以前のように、テキパキ、エネルギッシュに行動できなくなっています。そこで、若いフレッシュな方に、是非、参加して欲しいと願っています。私たちの展覧会にご関心がある方は、お気軽にご連絡くださるようお願い申し上げます。

7.21 集団的自衛権行使容認に反対するオールさいたま市民集会に参加して

常盤：丹生淳郷

準備会段階から参加し、毎日送られてくるメールで、前日まで1600名の参加を確認と伝えられました。永年、労働組合でこのような集会を組織し準備してきた者として、さいたま市革新懇が各民主団体や政党などに呼びかけて、運営や準備、参加確認などが円滑に運ばれるかどうか、多少心配しましたが、見事に杞憂に終わりました。日差しがなく蒸し暑くもなく、絶好の集会日和の北浦和公園に、2,200名を超える

参加者で一杯になりました。

大倉浩・埼玉県弁護士会会長の連帯挨拶は、正しい法の運用を生業とする弁護士会の会長として、安倍内閣の立憲主義を蔑ろにする政治手法に対する怒りと危機感にあふれ、職を、全うする責任感にあふれていました。メーデーの妨害にも来なくなった右翼の街宣車が朝早くから妨害活動に数台動員されてことも、賛成派の危機感の表れでしょうか。

= まず安倍晋三君が前線へ =

領家：本田 実

教育基本法の改悪、特定秘密保護法の制定が強行され、自衛隊の海外派兵が行われようとしています。国民には不安な時代となりました。

しかし、安倍君の言動を見ていると国民のことなどさらさら頭になく、軍事力を背景にした国造りにまっしぐらです。水鉄砲や紙鉄砲で撃ち合うような“戦争ゴッコ”をするのではありません。多くの若い人の命が失われるのです。

安倍君は一国のリーダーとして覚悟を伴った言葉で、国民に向かって話しかけたことがありません。言葉の軽さばかりが目立つのです。

憲法解釈では“最高責任者は私だ”と発言しましたが、これに対し古賀元自民党幹事長は“愚かな坊ちゃんの考え方”と切って捨てました。そうです、安倍君はそろそろ腹痛を発す時期ではないでしょうか？

歴史上、権力者が戦争の前線で戦ったことはありません。この際、日本国が海外で戦争する時は「まず安倍さんに前線に行ってもらいましょう」(天野祐吉)。その時は日本国民より安倍君に召集令状(赤紙)が届くはずで

召集令状 二〇二〇年九月二〇日

安倍晋三殿

「下記臨時招集ヲ命ゼラル。

依テ下記日時到着地ニ参着シ、此ノ令状ヲ以テ当該召集事務所ニ届出ツベシ」

日時 二〇二〇年一〇月一日十時

場所 浦和区役所領家支所 兵事係

部隊名 日本国陸軍関東司令部領家分隊

召集者 日本国民

とりうみさん必勝へ熱いエール
－浦和東口後援会が
とりうみさんを囲む会行っ
前地：古澤

猛暑真最中の8月2日(土)、浦和東口後援会では「とりうみさんを囲む会兼暑気払い」を浦和東口の地元居酒屋さんで行いました。参加者はお酒好き、議論好き、カラオケ好きの猛者？が7名(内女性2名)。全員に自己紹介、とりうみさんへの質問や要望、そして激励の言葉を話してもらいました。とりうみさんからは一つ一つ丁寧に答えていただくとともに、特に行政や自治会ではできない市議会や市会議員の役割について熱く語っていただいたことが印象的でした。約3時間に及んだエールとお酒の交換に熱気は最高潮。ヒートアップして倒れる人がいないかとヒヤヒヤしましたが、2次会のカラオケでは、終始なごやかにほっとしました。とりうみさんの「昔の名前ででています」など、日ごろの駅頭演説とは異なりシブイ美声に拍手喝采でした。最後に東口後援会長から、「本日はとりうみさんの人柄もよくわかり、良い会合だったと思います。浦和区の議席回復は、私たち自身の戦いでもあります」との感想が出ますと、とりうみさんからは「皆さんのエールに元気をいただきました。本当に感謝します。最後まで皆さんとともに頑張ります」との御礼のあいさつがありました。



シブイ美声で熱唱する鳥海さん

★街角だより★

『スナック・やまちゃん』と
カラオケ同好会

駒場：関口幹司

越谷街道沿いにあるバス停、本太坂下を降りると『スナック・やまちゃん』があります。大きな看板がないので、注意しないと見落とししてしまいそうです。小さなドアを開けると、カラオケ用モニターが2面あり、座席は15人ほど、奥の部屋は10人が座れる、合わせて25人ほど収容できるスナックです。月一度、14時から16時までの時間帯をカラオケ愛好家に開放して頂き、最高齢が84歳の男性、最年少が62歳の男性、20人程度の老々男女の集まり、『カラオケ同好会』の憩いの場所で、例会には14～15人が常連出席、新曲の発表、十八番(おはこ)を披露してカラオケを満喫しております。店主は団塊世代の生まれ。30歳前後の息子さんが時おり手伝って親子二人でカラオケ愛好家を接客しています。

親子二人とも気配り上手で、同好会各人の飲み物、おつまみを周知していること。ドリンクが空になったら、素早く交換してくれること。また、お喋りに夢中になると、唄った後の拍手は忘れがち、それをカバーして大きな拍手を送り、会員の唄を盛り上げてくれること、それも1番、2番、3番とその都度、大きな拍手は会員の熱唱に拍車を懸け、楽しさを倍増させてくれます。会員の要望で店主が素人離れした演歌を1曲サービス、ご息も若い歌手のカラオケをサービスするのは毎回のこと、このスナックの持ち味と言えます。

楽しさはアツという間に所定時間が過ぎ、名残惜しく再開を約束して1か月後の同好会に期待してお別れです。また唄ってみたいという気分させるスナック、気軽に入店できるカラオケスナックであると思います。



狂歌

岸町…佐久間 純

オスプレイ
買う金あれば
避難地の
民を救えよ
冷たい政府

川柳

岸町…だん吉

愛国心 あるなら止めよ 自衛権
戦争と ゴルフが好きな 安倍総理
一体化 とても無理無理 民主党



NO!! オスプレイ

★「広島・長崎の火」を囲むつどい
9月7日(日)14:00~16:00 さいたま・常泉寺

★うた声 9月13日(土)14:00~16:00 パレット
歌のリード:池田充宏 主催:浦和区後援会

★浦和区革新懇総会・講演会 10月19日(日)
「戦後70年を前に戦争する国にしているのか！」
講師:鈴木幸子弁護士

《編集後記》
公機関による規制・圧力が目立ってきた。教科書採択や朝霞高校修学旅行への教委の横やり、介入。三橋公民館俳句掲載拒否等。かつて映画法(一九三九年)で映画が規制され、生活綴り方教師が弾圧され(一九四〇年代)、映画監督や良心的教師の心が挫かれた。個人が良心・思想信条を自主規制するようになったら大変。自共対決は政党レベルだけでなく個レベルでも試される。個々が「平和を守る」断固とした気概を持って事に臨みたい。(きよと)

「平和の申し子たちへー泣きながら抵抗を始めよう」 なかにし 礼

二〇一四年七月一日火曜日
集団的自衛権が閣議決定された
この日 日本の誇るべき
たった一つの宝物
平和憲法は粉碎された
つまり君たち若者もまた
圧殺されたのである

こんな憲法違反にたいして
最高裁はなんの文句も言わない
かくして君たちの日本は
その長い歴史の中の
どんな時代よりも禍々しい
暗黒時代へともどっていく

そしてまたあの
醜悪と愚劣 残酷と恐怖の
戦争が始まるだろう
ああ、若き友たちよ！
巨大な歯車がひとたびぐらっと
回りはじめたら最後
君もその中に巻き込まれる

いやがおうでも巻き込まれる
しかし君に戦う理由などあるのか

国のため？ 大義のため？

そんなもののために
君は銃で人を狙えるのか
君は銃で人を刺せるのか
君は人々の上に爆弾を落とせるのか

若き友たちよ！
君は戦場に行ってはならない
なぜなら君は戦争にむいてないからだ
世界史上類例のない
六十九年間も平和がつづいた

理想の国に生まれたんだもの
平和しか知らないんだ
平和の申し子なんだ
平和こそが君の故郷であり
生活であり存在理由なんだ

平和ぼけ？ なんとでも言わしておけ
戦争なんか真っ平ごめんだ

人殺しどころか喧嘩もしたくない
たとえ国家といえども
俺の人生にかまわなくてくれ
俺は臆病なんだ
俺は弱虫なんだ

卑怯者？ そうかもしれない

しかし俺は平和が好きなんだ
そのどこが悪い？
弱くあることも
勇気のいることなんだぜ
そう言って胸をはれば
なにか清々しい風が吹くじゃないか
怖れるものはなにもない

愛する平和の申し子たちよ
この世に生れ出た時
君は命の歓喜の産声をあげた
君の命よりも大切なものはない
死んではならない
が 殺してもいけない

だから今こそ！
もっともか弱きものとして
産声をあげる赤児のように
泣きながら抵抗を始めよう
泣きながら抵抗しつづけるのだ
泣くことを一生やめてはならない

平和のために！

7月31日埼玉弁護士会主催「憲法と人権を考える市民のつどい」でなかにし礼さんが朗読した自作の詩です。